

県政全般

ニュー・パブリック・マネジメント

みえ経営改善プラン

「新しい時代の公」(ニュー・パブリック・ガバナンス)を支える「みえ行政経営体系」による更なる経営改善

ニュー・パブリック・ガバナンス

「三重のくにづくり宣言」(H9~15)の推進

- 生活者起点の県政
- 目的達成型の行政
 - ・分権型自治
 - ・決算主義
 - ・情報公開・提供
 - ・タックスペイヤーの立場

「県民しあわせプラン」(H16~)の推進、戦略計画

- 県政運営の基本姿勢(・県民が主役の県政 ・県民との協働により創造する県政 ・県民と共に感性を磨く県政)
- 「新しい時代の公」(・「地域主権の社会」(個の確立、補完性の原理) ・行政の役割とあり方の見直し ・県と市町との役割分担)

戦略計画(H16~18)の推進

- 「県民しあわせプラン」の的確な進行管理のための中期計画
- 重点プログラムの取組

次期戦略計画(H19~)の推進

- 「新しい時代の公」
 - 文化力
- を2つの柱とする県政

- 成熟社会への移行
- 公に対する新たな意識
- 市町村合併の進展
- 厳しい財政状況
- 行政・公務員に対する厳しい視線

●県政運営の基本姿勢

- ・県民が主役の県政
- ・県民との協働により創造する県政
- ・県民と共に感性を磨く県政

●ガバナンスと全体最適を柱とした県政運営

- ・全体最適を柱とした簡素で効率的な運営(常に改善、変革)
- ・質の高い行政サービスの提供
- ・「新しい時代の公」にふさわしい行政運営

厳しい財政状況にあっても、必要な公共サービスの維持、向上

行政運営

行政システム改革(H10~15)

- 改革の3つのキーワード
 - ・「分権・自立」
 - ・「公開・参画」
 - ・「簡素・効率」
- (職員の意識・県庁の仕組み改革への取組)(項目)
 - 事務事業の見直し
 - 組織の見直し
 - 外郭団体の整理縮小
 - 定員及び給与
 - 人材の育成・確保
 - 行政サービスの向上
 - 公正の確保と透明性の向上
 - 経費の節減合理化等財政の健全化
 - 「ハコ物」建設の抑制
 - 公共工事のコスト縮減
 - 地方分権の推進

経営革新

「みえ行政経営体系」(H16~)による県政運営

- 「県民しあわせプラン」を着実に推進するための行政運営のしくみ(5つの基本的枠組)
 - ① マネジメントのベース(経営品質向上活動、危機管理、環境マネジメントシステム(ISO14001))
 - ② 広聴広報・情報マネジメント
 - ③ 戦略策定(PPLAN)
 - ④ 戦略展開(DO)
 - ⑤ 評価(SEE)

⇒ PDSサイクルに基づく全体最適な県政運営
- トータルマネジメントシステムの検討(H15)結果を踏まえた、予算、組織、人事等、各システムの見直し(H16~18)

更なる経営改善

「みえ行政経営体系」による更なる経営改善

- 『みえ経営改善プラン』
 - ・「みえ行政経営体系」の5つの基本的枠組に基づき、県の5年間の具体的取組について全体像として整理。
 - ・県民にわかりやすく公表、他府県との比較を可能に。(取組内容例)
 - 組織の見直し
 - 平成18年度に向けて、本庁部局編制の見直し、地域機関(県民局制度)の見直しを実施し、今後も弾力的に見直しを行う。
 - 人材育成の推進
 - 新たな人材育成ビジョンの策定、OJTの取組強化。
 - 定員管理の適正化
 - 市町村合併に伴う市町と県の役割分担の見直しや県の組織体制・組織運営方法の見直し等による適正な定員管理
 - ・平成22.4.1までに5.0%削減
 - 給与等の適正化
 - 新たな勤務評定評価の導入と年功的な給与処遇から職務・職責に応じた給与構造への転換。
 - 事務事業の見直し
 - 民間委託等の推進
 - 外郭団体の見直し